

地域助産学演習

単位数：3単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
松浦 志保：臨床看護学講座講師

1. 科目の教育方針

特定の地域における女性の健康問題を文献、データ、対象地域の地区踏査などから明らかにし、問題解決のための課題、施策について提案できる。助産師の専門性を活かした地域活動と多職種との連携・協働の実際を学ぶ。

2. 教育目標

- 1) 地域・医療へき地における周産期医療の実際について学び、助産師の専門性を活かした活動・役割について考える。
- 2) 地域の母児・女性の健康問題・課題を明確化し、その解決に向けた対策を考えることができる。
- 3) 多職種間の連携・協働について学び、これが円滑に行われるための対策について学ぶ。

3. 教育の方法、進め方、評価等

1) 演習施設

隠岐病院島の医療人育成センター 地域連携部

2) 実習時期（期間）

2年次前期

3) 内容

- ・学生が主体的に指導者と相談し、日々の実習スケジュールを調整、決定する
- ・学内で演習計画を文献、地区踏査を行い、地区診断を行い地域医療の課題を明らかにする。
- ・地域で自身が提示した課題を解決するための方策を検討する。
- ・発表

【評価】

演習計画書、報告書、発表を総合的に評価する。

5. 教育内容 4 5

回	内 容	講師
1~10	演習前 演習計画立案： 自己の助産実践を振り返り、演習計画を立案する	橋本
11~17	演習前 地域診断をして、地域の健康問題・課題を示す	橋本
17~30	隠岐病院島の医療人育成センターで自己の提示した課題を 解決するための方策の検討（演習）	橋本 隠岐人材育成 センター
31	中間発表会	橋本 隠岐人材育成 センター
32~41	演習	隠岐人材育成 センター
42	課題とその対策についての検討会	橋本
43~45	報告書 まとめ	橋本 隠岐人材育成 センター